

〈巻頭言〉医学教育、その力点の変遷	2
順天堂大学学長・理事長/医学教育振興財団常務理事 小川 秀興	
日英医学教育会議 2005	
プログラム	4
出席者	7
開会挨拶	10
David Gordon (Chair, Council of Heads of Medical Schools) 高久 史麿 (医学教育振興財団理事長)	
医学教育の方法 (A)	司会) Ed Hillhouse (University of Leeds) / 神津 忠彦 (医学教育振興財団)
新しいカリキュラム	Samuel Leinster (University of East Anglia) 12
卒前医学教育：改革で失われるものは・・・?	Gareth Williams (University of Bristol) 15
日本の医学部における PBL カリキュラム	吉岡 俊正 (東京女子医科大学) 19
医学部の学士入学制度	Terence Stephenson (University of Nottingham) 26
日本における医学生選抜	堀田 知光 (東海大学) 31
医学教育の方法 (B)	司会) Stephen Smith (Imperial College London) / 紀伊國 献三 (医学教育振興財団)
医学部の教育における研究の役割	David Gordon (University of Manchester) 37
卒前医学教育における研究志向の育成	宮園 浩平 (東京大学) 40
英国における医学教育の質の保証	Samuel Leinster (University of East Anglia) 45
日本における医学教育の質の保証	石野 利和 (文部科学省) 49
医学教育における地域社会の役割	司会) John Tooke (Peninsula Medical School) / 前沢 政次 (北海道大学)
教育者としての一般医の役割	William Doe (University of Birmingham) 55
日本における地域医療教育	前沢 政次 (北海道大学) 59
イギリスにおける教育病院の役割	John Caldwell (University of Liverpool) 64
日本のマッチング・プログラムと卒後研修	宇都宮 啓 (厚生労働省) 68
ファカルティ・ディベロップメントと研究に相応しい環境の維持	司会) Iain Cameron (University of Southampton) / 吉村 博邦 (北里大学)
英国におけるファカルティ・ディベロップメント	Samuel Leinster (University of East Anglia) 77
日本におけるファカルティ・ディベロップメント	奈良 信雄 (東京医科歯科大学) 80
英国における医師免許更新制度	Graeme Catto (General Medical Council) 85
臨床研究者のキャリアの保護	Stephen Smith (Imperial College London) 92
21世紀の医師	司会) Kenneth Fleming (Dean, University of Oxford) / 矢崎 義雄 (国立病院機構理事長)
社会が医師に求めるもの——21世紀の医師像	Kenneth Fleming (University of Oxford) 97
国立大学の法人化に伴う環境の変化	兼松 隆之 (長崎大学) 102
職を奪う五つの道——医療への脅威	Gareth Williams (University of Bristol) 107
少子高齢化が医学教育に及ぼす影響	桃井 真里子 (自治医科大学) 112
今後の日英協力態勢の強化	司会) William Doe (University of Birmingham) / 高久 史麿 (医学教育振興財団) 118
総括	Robert Boyd (Council of Heads of Medical Schools) 124
閉会のことば	小川 秀興 (医学教育振興財団常務理事) 126
特別講演	廣川 信隆 (東京大学大学院医学系研究科長) 127 司会) 吉田 修 (奈良県立医科大学学長)
第25回国内医科大学視察と討論の会報告	148 長崎大学医学部教務委員長 中園 一郎
Oxford 便り	154 名古屋大学大学院医学系研究科総合診療医学博士課程 錦織 宏
〈留学生便り—2006年〉	178
財団だより	186